

2026 年 1 月－ 6 月

FC東京 温室効果ガス (GHG) 排出量 (グロス排出量及びネット排出量)

	GHG排出量 ton-CO2	主な算定対象
Scope 1	18	都市ガス、ガソリン
Scope 2 (ロケーション基準)	165	電力
Scope 2 (マーケット基準)	27	再エネ電力・環境価値による削減
Scope 3	882	
カテゴリー 1 購入した製品・サービスの製造	408	オフィシャルグッズ、ユニフォーム、来場者配布物、水道水 等
カテゴリー 2 施設の建設・車両の製造	0	社用車、設備投資等
カテゴリー 3 エネルギーの採掘・生産・輸送	87	電力、ガソリン・都市ガスの製造・輸送
カテゴリー 4 自社負担の輸送	0	オフィシャルグッズ、配布物の納品
カテゴリー 5 ゴミの廃棄・リサイクル	15	ホームゲーム運営、練習所、オフィス
カテゴリー 6 職員・選手の出張	14	選手スタッフの遠征、社員出張
カテゴリー 7 職員・選手の通勤	48	選手スタッフ、社員の出勤
カテゴリー 9 消費者負担の輸送	0	オンラインショップ商品の配送、宅配便
観客の移動	302	ホームゲーム来場者の移動
スタジアムグルメの運営	8	キッチンカー燃料など
グロス排出量	1065	
マーケット基準反映後	927	
J-クレジット等によるオフセット	-8	
ネット排出量	919	

算定の考え方

GHG Protocol 及び環境省の算定ガイドライン等を参考に、標準算定ルールに基づき算定しています。

＜標準算定ルール (概要)＞

排出係数：政府等が公表する排出係数を基本とし、不足するものは、文献値、環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」等を参考。

活動量：電力使用量やガス使用量などの実績値を基本とし、取得が困難な場合は、金額、人数、数量等を用いた合理的な推計により算定。